

プラスチック製品製造業におけるフォークリフトを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	現場にて、発砲後の原板を高さ1mほどの金属製の枠付き台車にのせて、運搬する作業中、製品が目の高さまで搭載し前方が見えにくい状態だった為、前方から原料を運搬するフォークリフトにぶつかり台車の取手で胸部を強打し負傷した。	41	30～49
1	16～17	現場事務所で指示を受けた作業者が、製品を取ってバックで走行中（5km位）のフォークリフトに気付かず、振り向いた時にフォークリフトと接触し、前輪に右足先を挟まれた。	22	100～299
2	8～9	第2工場西側シャッター付近で製品搬送作業中にフォークリフトに製品を乗せてバックしながら曲がって外に出たところ、第3工場へ向かっていた被災者と接触し右足を負傷させた。	65	30～49
4	11～12	当社敷地内、本社工場押し出し部門の南通路側シャッター前において、床に落ちた樹脂くずを箒で掃く清掃作業中、積荷作業のためバック移動をしていたフォークリフトと左足首が接触した。	40	50～99
4	7～8	ベルトコンベア上の製品の移動作業中、安全確認を怠り、急に通路側に振り向くように飛び出し、通行中のフォークリフトに衝突した。	41	50～99
5	2～3	工場横の通路で、リフトの運転を交替する際、先に降りてリフトが移動するのを待っていた時に、次の運転者が先に降りた本人との距離を見誤り、安全靴着用済みの左足甲をリフトで乗り越えられてしまった。	36	100～299
7	22～23	インターの間で、処分場から現場へ戻る途中、前方から鳥が飛んできて避けようとハンドル操作を誤り、追越車線側のコンクリート壁にぶつかった。	28	30～

				49
7	8~9	完成品を入れる空コンテナを機械にセット（供給）していた時。一度、空コンテナを機械に供給し次の空コンテナを取ろうとし、振り向き様に（周囲の確認を怠っていた）リーチフォークと鉢合わせになった。（この時、安全靴を忘れたため、スニーカーで仕事をしていた。）その際、リーチフォークリフトの左前輪に左足小指部分を踏まれ、さらに前輪アームの突起と右足の脛を接触させたため、受傷。	62	100 ~ 299
7	10~11	工場内の棚卸しで製品をリフトに積み移動する作業を同僚がしていて、後方を確認してからリフトをバックさせた時、後方を歩いて来た被災者の右足の上にリフトのタイヤが乗り上げて負傷した。	53	30 ~ 49
7	16~17	工場内でフォークリフトによる製品の移動中、運転手は後方を確認後、フォークリフトをバックしたところフレコンバックの脇から作業場を離れ後ろ向きに出てきた被災者にフォークリフトの後方部が接触したと思われる。被災者は接触時に腰を打ち、前につんのめってこけた時に右足首を捻挫したと思われる。フォークリフトは幅4mの通路で作業をしていたため速度は出しておらずバック音はしていた。作業場を離れていた理由は不明。	57	10 ~ 29
7	15~16	倉庫棟内にて、製品検品を行う為、5段に積み上げられている製品コンテナ（L1200mm×W1200mm×H1200mm）を床上に平置きする作業を実施後、フォークリフトから降車しようとしたときに、左足首を床面（高さ400mm）でひねり、捻挫をした。	40	10 ~ 29
12	5~6	派遣先構内の空箱置場にて、空箱整理の作業中、派遣先従業員の運転するフォークリフトが、被災者に向かって後退し接触した。その際、被災者の右足に後輪タイヤが乗り上げ受傷した。派遣先従業員がバックする際、後ろを確認したときに右側にいた被災者が、気がつくやうに左側に移動しており接触した。	38	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html